

～山崩れが生んだ島原名物～「浜の川湧水と銀水」

毎月、島原半島内のジオサイトやその見どころなどを紹介するこのコーナー。今回は「浜の川湧水と銀水」について紹介します。



浜の川湧水

海にほど近く、時折潮の匂いを感じる港町の一角に、にわかに湧き出す真水。これが「浜の川湧水」です。100メートルも歩けば海辺になるこの場所に、なぜきれいな真水が湧き出しているのでしょうか。

眉山や普賢岳の山々に降った雨は、地下に染み込み、長い時間をかけて地層の中を通過してきた後、ミネラルを豊富に含む湧水となって地表や海底に湧き出します。島原の市街地は、たくさん水をたたえた山々の麓に位置しているため、水が豊富に湧き出すのです。今、浜の川湧水がある場所は、かつては海でした。おそらく湧水も海底に湧き出していたことでしょう。しかし、1792（寛政4）年5月21日、眉山が強い地震によって大崩壊を起こし、大量の土砂が海を埋め立てました。それまで海だったところが陸地になったため、海底に湧き出していた水が地上に湧き出し、現在の姿になったのです。



銀水

海沿いに湧き出す真水は貴重であったことから、水を求めて人が集まり、いつしか港町ができました。1年で最も寒い

第8回

島原半島ユネスコ世界ジオパークセミナー

島原半島の歴史・文化・自然、そしてそれらを支えるジオの魅力を毎月やさしく紹介します。

- ▶と き 1月21日（土）10時～12時
- ▶ところ 南島原市口之津公民館
- ▶参加料 無料
- ▶講師 原田 建夫 氏
（前口之津歴史民俗資料館長）
- ▶題 目 「口之津の歴史と文化」
- ▶問い合わせ先 島原半島ジオパーク協議会
（☎65-5540）

「大寒」の時期にさらしたもち米の粉で作った白玉団子を、湧水で作ったシロップに浸して食べる「かんざらし」を1915（大正4）年に浜の川湧水に隣接するお店が、売り出しました。このお店が「銀水」です。浜の川の湧水を使うからこそ生まれる「かんざらし」の独特の食感と甘くて奥深いシロップの味は、眉山の大崩壊がなければ生まれることのなかった島原の名物です。



浜の川湧水と銀水

※「銀水」の開店時間は10時～17時。店休日は毎週火曜

～島原半島ジオパークの特徴や魅力を学んでみませんか～

第6回島原半島ジオパーク検定（初級・中級）

- ▶と き 2月5日（日）10時30分～11時30分（開場10時）
- ▶ところ 雲仙岳災害記念館 セミナー室
- ▶試験問題 「島原半島ジオパークのことがわかる本」2012年度改訂版から70%以上出題します
- ※初級編は全問3択問題、中級編は70%が3択問題、30%が筆記問題
- ▶申込方法 島原半島ジオパーク協議会のホームページまたはジオパーク検定事務局に設置している申込用紙に必要事項を記入の上、申し込んでください

※中級編は初級編合格者に限る

▶検定料 高校生以上1080円 中学生以下540円

▶申込期限 1月23日（月）（必着）

▶申し込み・問い合わせ先 ジオパーク検定事務局（島原半島ジオパーク協議会事務局 ☎65-5540）



「島原半島ジオパークのことがわかる本」500円